

第2回つくば3Eフォーラム

# つくばの新たな挑戦

～知と技術を集積し、低炭素で安全安心の環境・教育国際  
モデル都市を目指して～

つくば市長 市原 健一



City of Tsukuba

平成20年5月31日



# 1. つくばの特徴

**研究学園都市**  
日本トップレベルの大学  
・ 研究機関が集積



**TX沿線地区**  
大規模開発が進展



開発前の筑波研究学園都市

あらゆる取り組みに対応  
可能な最適な環境

温暖化対策への取り組み  
が最も重要



## 2. 低炭素社会に向けた世界の潮流

1970年代頃から環境問題が話題となっていたが...

大きな契機

1992年 “地球サミット” 環境と開発に関する国際連合会議  
環境と開発に関するリオ宣言 「持続可能な開発」

→ 環境問題, **地球温暖化の問題**への対策が重要視されてきている。



全国地球温暖化防止活動推進センターホームページより (<http://www.jccca.org/>)





### 3. 低炭素社会に向けた日本の潮流



全国地球温暖化防止活動推進センターホームページより (<http://www.jccca.org/>)

1997年 気候変動枠組み条約締約国会議  
「京都議定書」を議決

日本は2012年までに  
1990年比6%削減

2008年に第一約束期間が始まるが、1990年から6.2%増加

今後ポスト京都議定書が焦点

7月に洞爺湖サミットが開催



日本が世界の主導性を発揮



# 4. つくばの役割

国際的な地球環境対策への高まりを受け

**研究学園都市つくばの新たな役割**

大学・研究機関の横断的連携による高度な技術的対応

特に環境問題

これまでも

環境共生のまちづくりを進める

緑被率30%確保 民有緑地の確保  
雨水貯留の実施 緑住農一体型住宅の導入

新エネルギー特区の認定  
小型風力発電機の導入

つくば

トップレベルの大学・研究機関が集積  
環境意識が高い市民が多い

つくばが日本を先導するチャンス



## 5. 環境都市づくりに向けた経緯

日本を先導するにあたり

**大学・研究機関の横断的連携や  
市民, 企業, 大学・研究機関, 行政の連携の基盤 が重要**

市内のNPO, ボランティア団体が活発な環境活動を展開

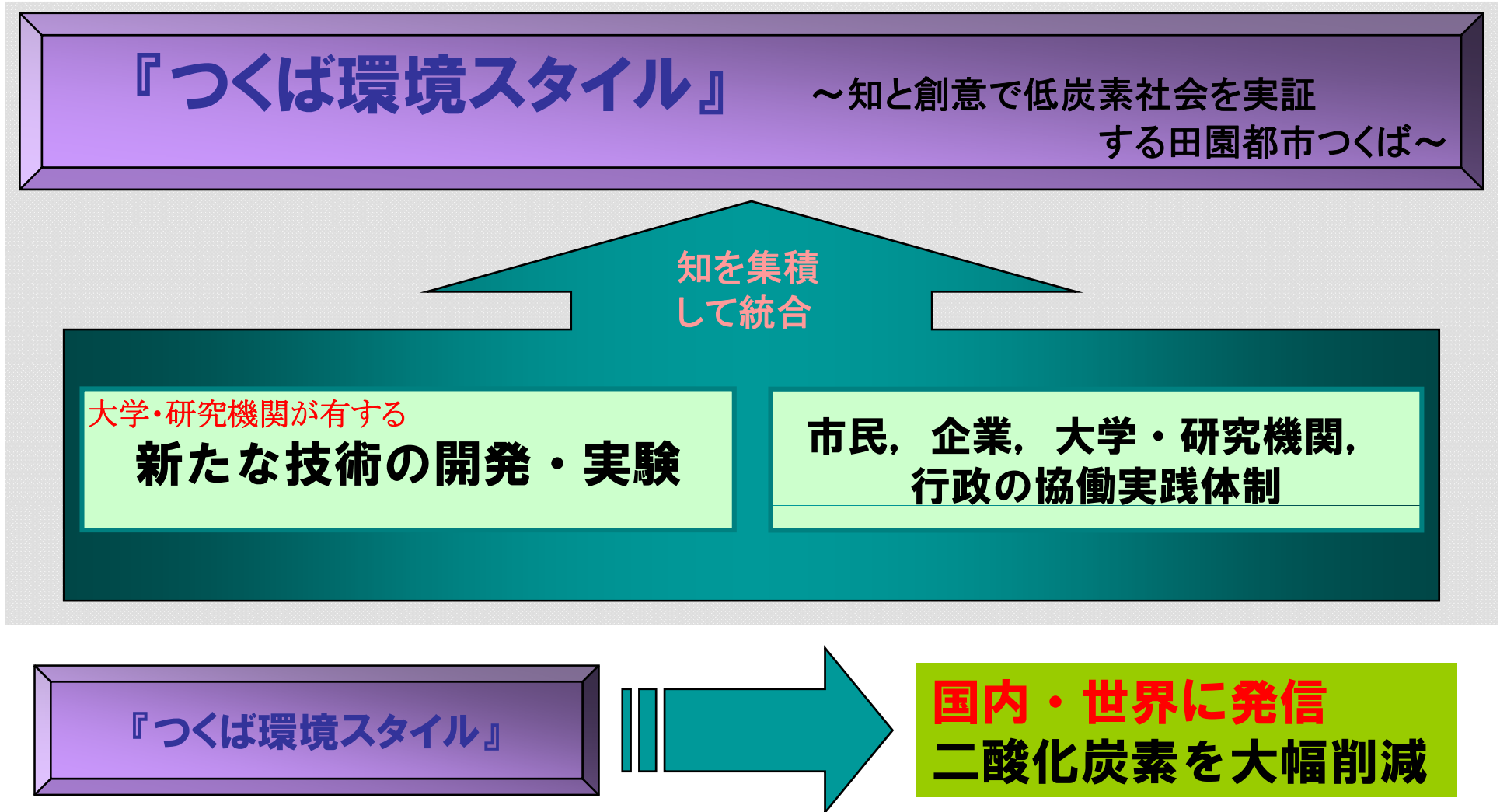
昨年12月 第1回つくば3Eフォーラムが開催

**【2030年における二酸化炭素排出50%削減】を提言**

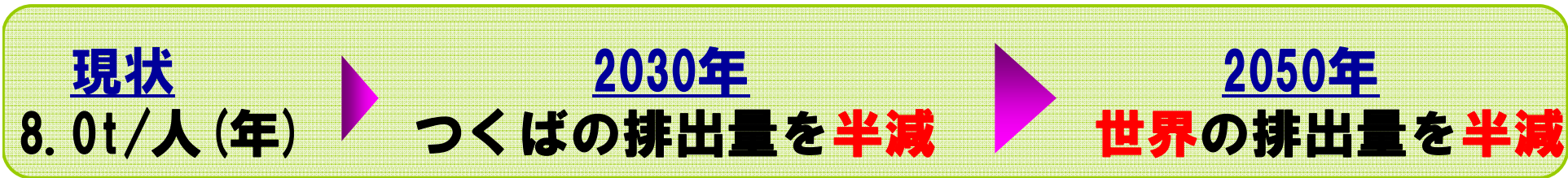
環境モデル都市へ立候補  
環境都市づくりを進める



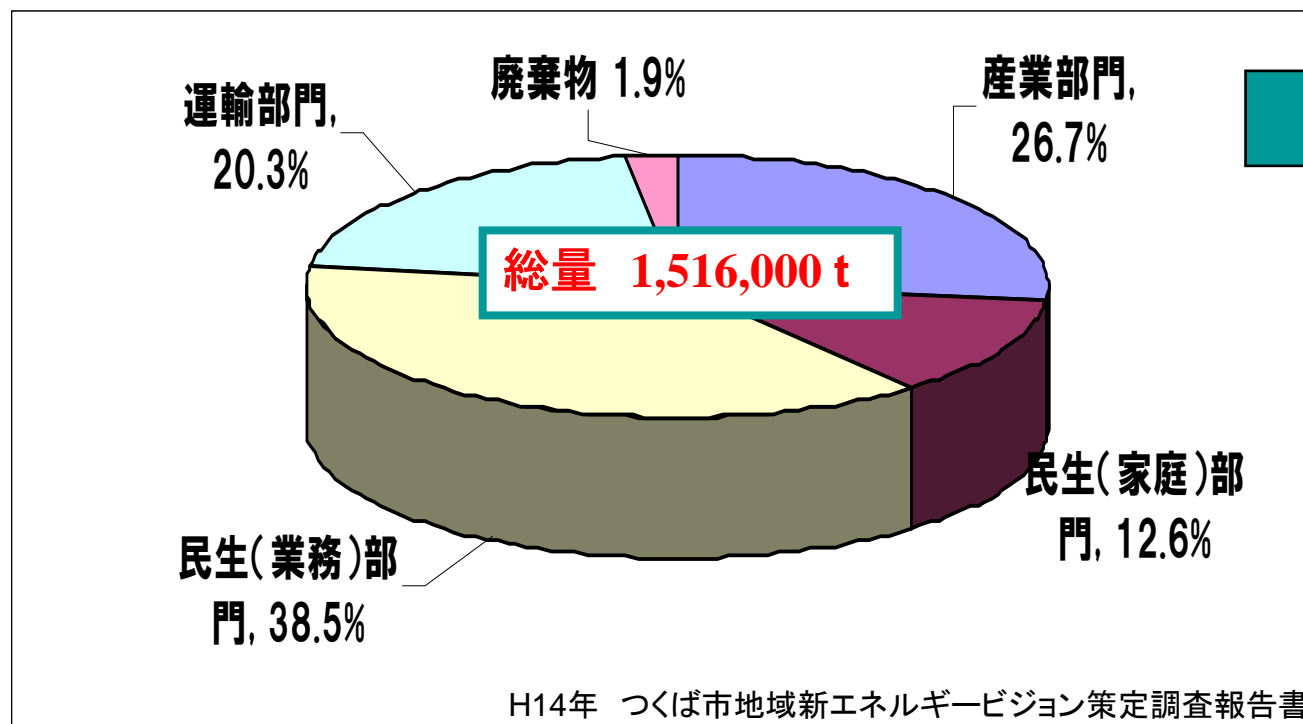
## 6. 環境都市づくりに向けたコンセプト



# 7. 削減目標と現状



○ つくばの二酸化炭素排出割合 (2002年の推計値)



1人当たりの排出量  
約8.0t/年

8.0tと言うと...



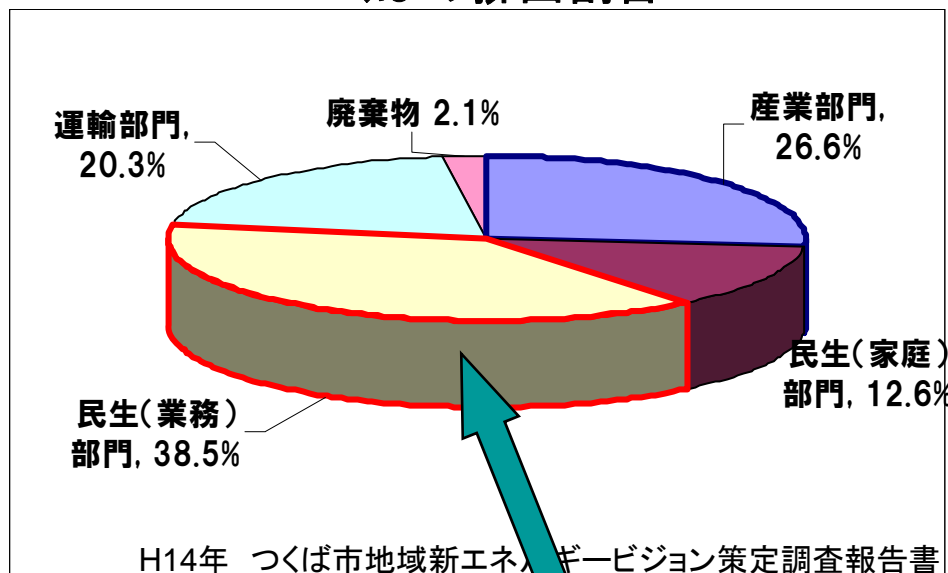
1人1年間で  
約40,000km  
走行するのと同じ



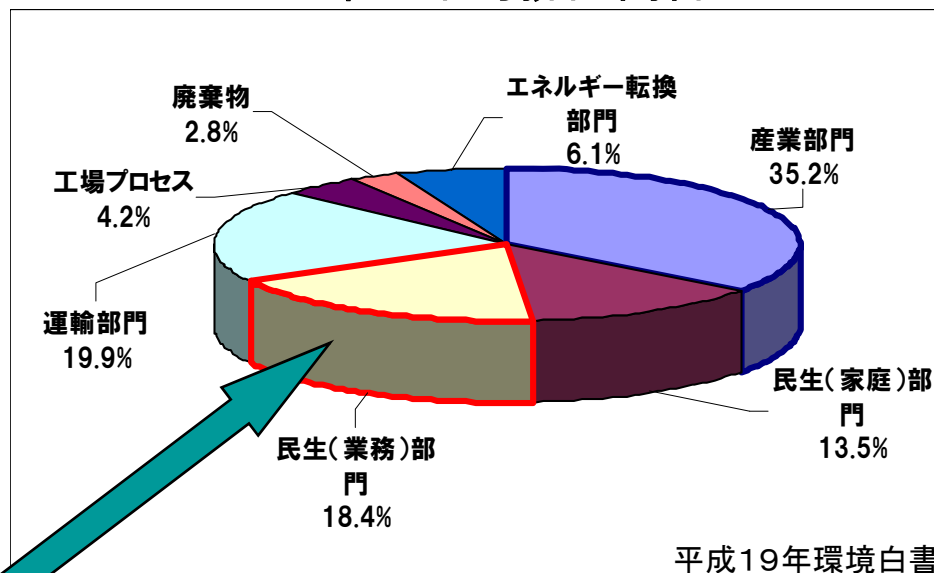
# 7. 削減目標と現状

## ○ つくばと日本の比較

つくばの排出割合



日本の平均排出割合



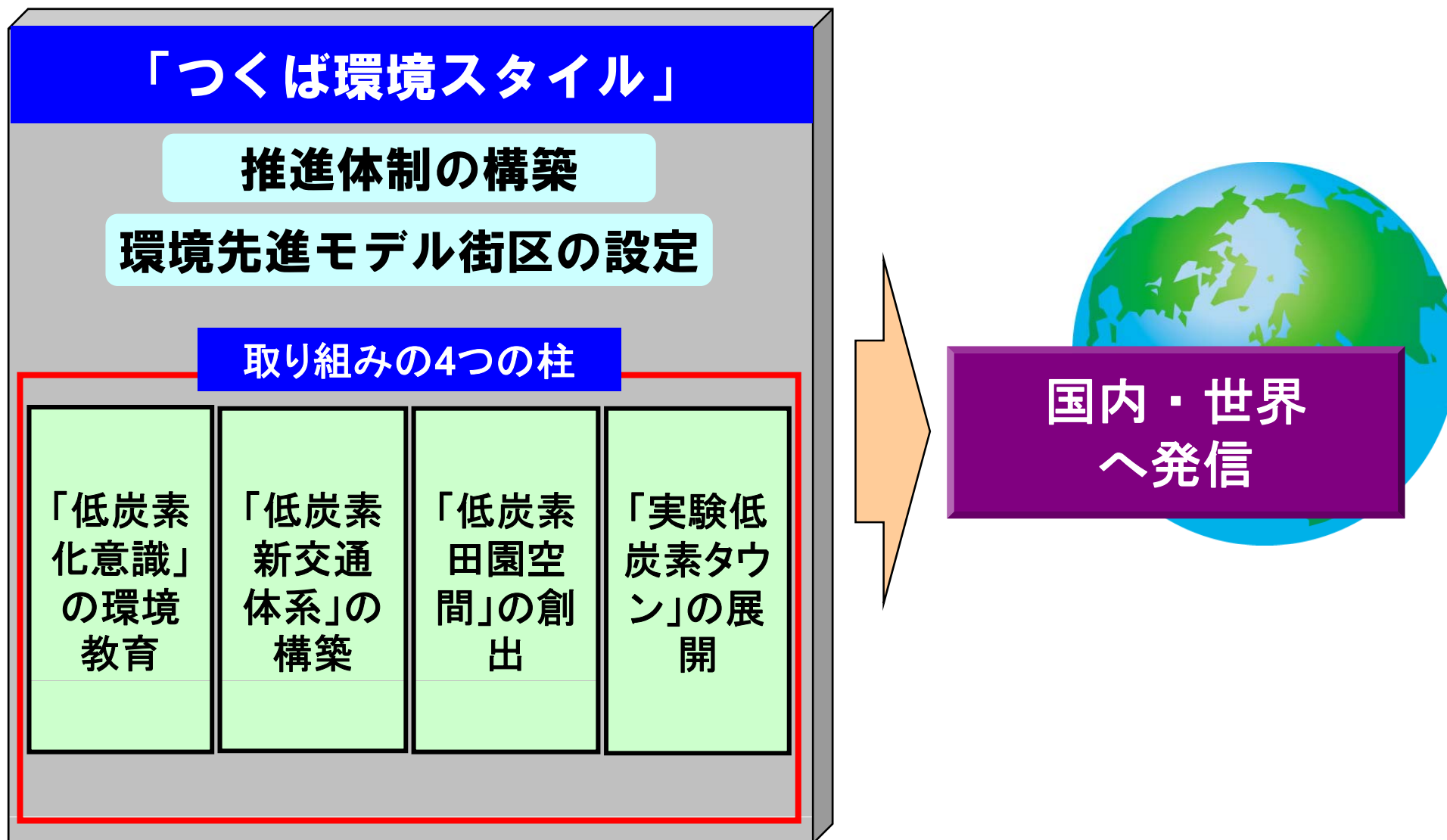
つくば → 民生(業務用)が多い

大学・研究機関が集積しているため排出量が多い

知を多く有している大学・研究機関と連携し削減すると同時に  
大学・研究機関が自ら二酸化炭素を削減することも重要



## 8. 環境都市つくばの取り組みの柱



# 9. 未来のつくばのために

## モデル街区取り組み例

- 住宅モデル街区の設定による「実験低炭素タウン」の展開
- つくば市新庁舎 -先進的エコ庁舎-
- 自転車・バス利用誘導等
- 身近な水と緑のまちづくり -源流の森-
- 商業施設の太陽光、風力発電の導入等
- 環境に関する教育 - (仮称)春日小中学校-
- 身近な水と緑のまちづくり -蓮沼川流域-

◆競争、大学・研究機関、市民、行政、事業者が協力し Plan(計画)、Do(実行)、Check(点検)、Act(改善)

## 田園空間モデル街区

緑住農一体住宅の実験・普及

## モデル街区実験イメージ

### 電気自動車 カーシェアリング

全国地球温暖化防止活動推進センターホームページより

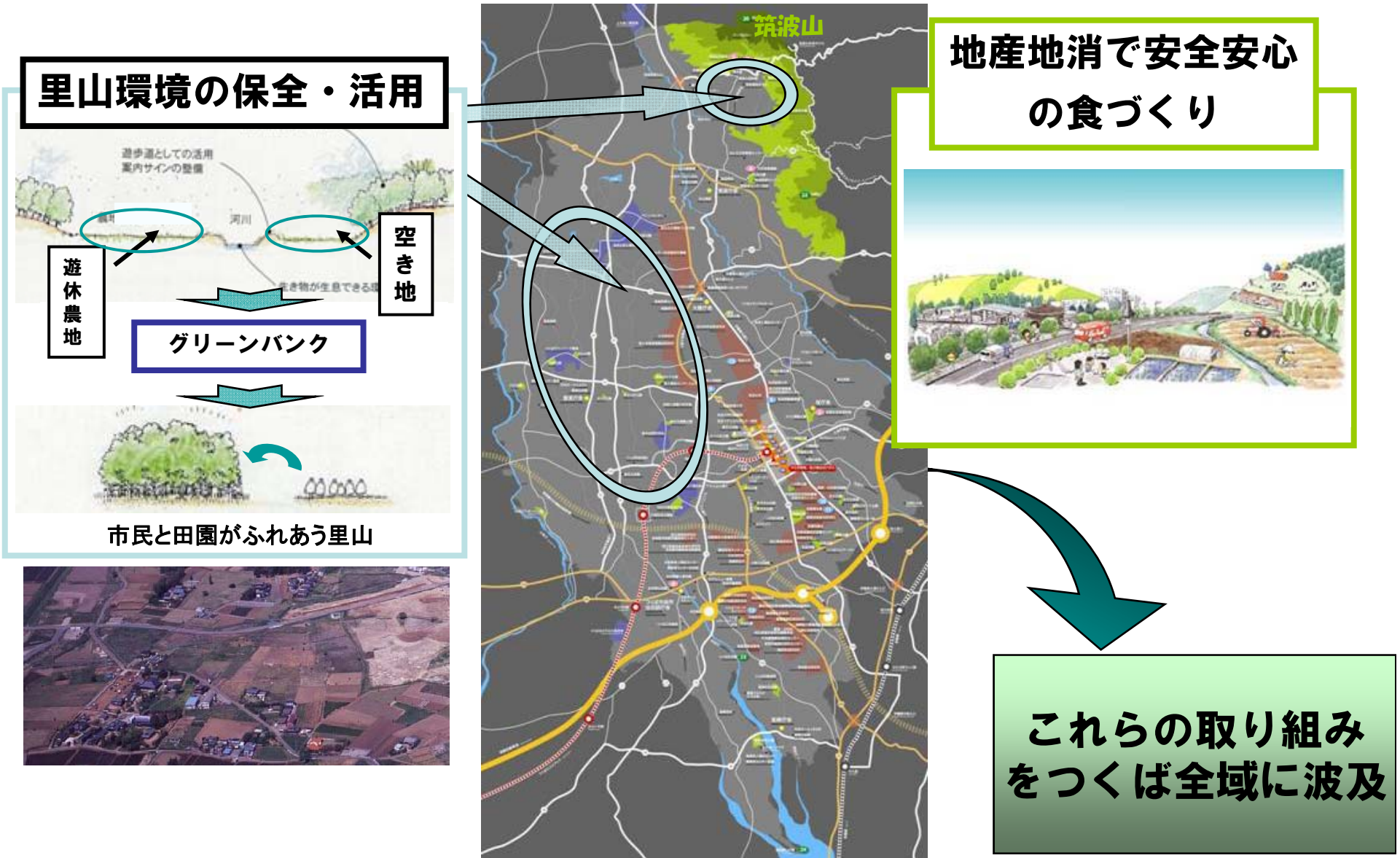
## 藻類バイオマスの実用化



## 自転車中心の街づくり



# 9. 未来のつくばのために



# 10. つくば環境スタイル ～教育～

その中でも特に教育が取り組みのカギ

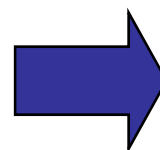


低炭素化意識  
の環境教育



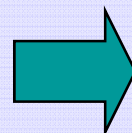
未来の低炭素社会を担う人材育成  
低炭素ライフスタイルに向けた啓発

トップレベルの大学・研究機関が集積



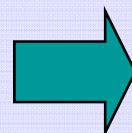
環境エキスパートによる  
教育が可能

学校に大学・研究機関等の環境  
エキスパートを派遣



将来を担う子どもに環境問題の  
大切さを教える

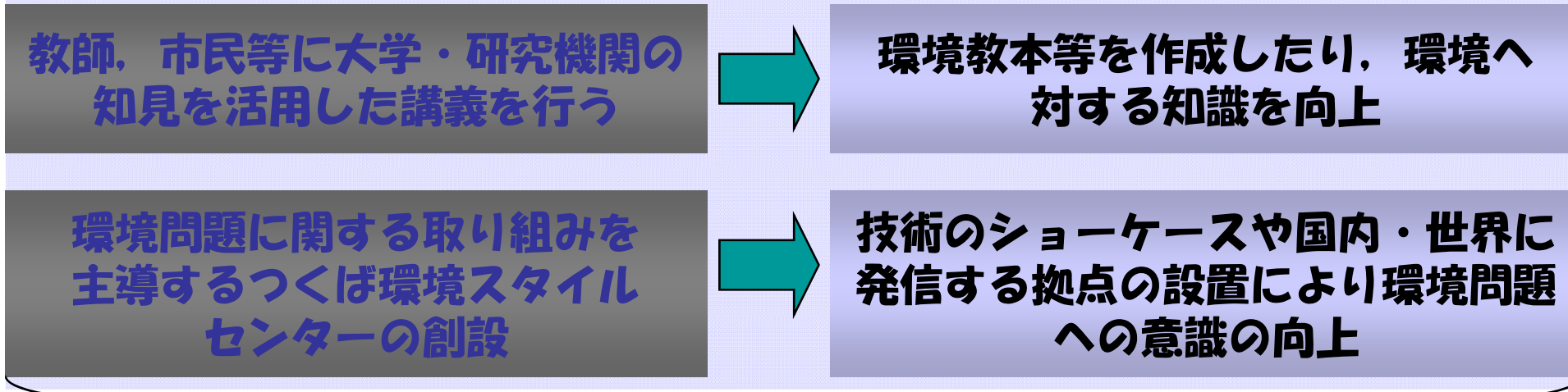
学校で二酸化炭素削減の具体的な  
行動を考える (つくばIEC運動)



家庭でも実施し環境への意識を  
高めていく



# 10. つくば環境スタイル ～教育～



**環境教育を充実**

小・中学校教育充実させると

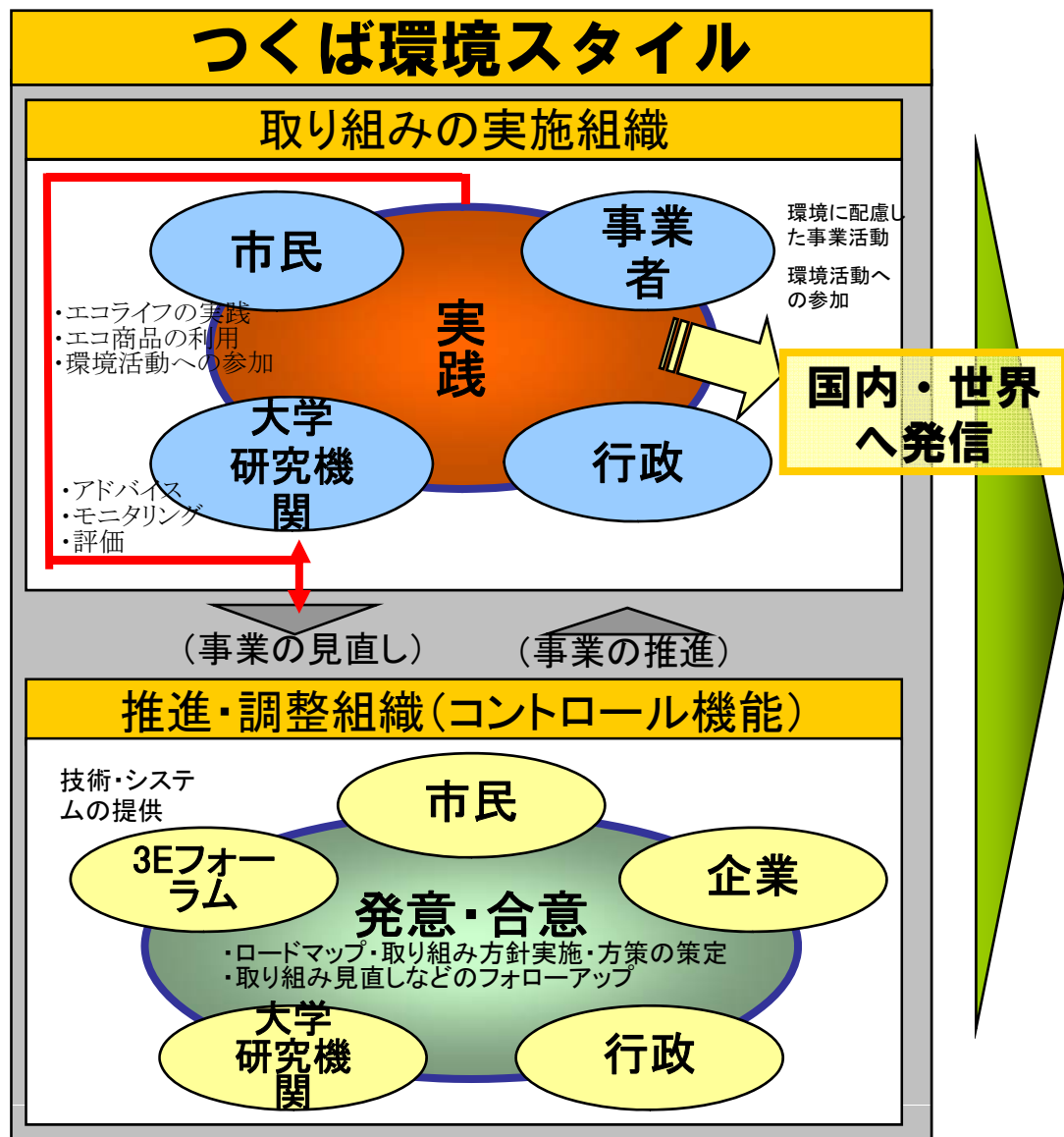


⇒ **日本の二酸化炭素削減に大幅に寄与**





# 11. 連携強化によるつくばの発展



## つくばの更なる発展

- 連携によるイノベーションの創出
- 新たなビジネスモデルの構築による地域経済の活性化
- 新たな市民生活の創出
- 連携強化による地域総合力の向上
- つくばブランド力の向上



## 12. 未来に挑戦し続ける「つくば」

**最先端の技術を持つ大学・研究機関の横断的連携  
高い意識を持つ市民の連携**



**つくばが国内・世界の未来を先導  
「世界のつくば」へ常に挑戦**

